

財務諸表に関する注記

1.重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

ソフトウェア・・・定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

本注記をもって附属明細書の基本財産及び特定資産の明細に代えるものとする。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
定期預金	1,100,000			1,100,000
健康セミナー事業引当資金	1,050,000		50,000	1,000,000
健康情報事業引当資金	550,000		50,000	500,000
公益事業共通引当資金	150,000		50,000	100,000
法人会計引当資金	150,000		150,000	0
合 計	3,000,000	0	300,000	2,700,000

3.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
定期預金	1,100,000		1,100,000	
健康セミナー事業引当資金	1,000,000	1,000,000		
健康情報事業引当資金	500,000	200,000	300,000	
公益事業共通引当資金	100,000	100,000		
合 計	2,700,000	1,300,000	1,400,000	0

4.固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	416,640	187,592	229,048
合 計	416,640	187,592	229,048